

# セ ボ ネ

クガヤ

ランティア

ネットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発！ ボランティア生活発見マガジン  
<http://www.otagaisama.or.jp/>

2017.9 No.161

今月のトピック

特集●

「憩いの家」 青少年と共に歩んで 50 年

まちの市民力！ ● アニマシオン・トイ

キラリ世田谷人 ● 星野 サユ さん



イラストレーション● 村上 暁子

世田谷在住のフリーイラストレーター。

0.05ミリペンの繊細な線と水彩のあたたかい色が特徴。

書籍や雑貨等のイラストを描いています。

<http://www.akkobaum.com>

●わたしの世田谷

都会でありながら自然や緑がとても多く、木々や街並みを描いている私にぴったりの街です。

世田谷線に乗ってのんびりカフェに行くのが大好きな時間。

# 「憩いの家」青少年と共に歩んで50年

支援を必要とする青少年を支えてきた自立援助ホーム「憩いの家」。設立から今年で50周年を迎えます。この半世紀で、子ども・子育てをめぐる社会環境は大きく変化し、すべての子どもが安心して安全に暮らせるように支援の充実が必要とされています。

43年間、共に歩んできた武田陽一さんにお話をうかがい、「憩いの家」をあらためてご紹介したいと思いま



「憩いの家」をささえるスタッフと役員。  
後列右が武田さん。

## 「働く」ことと「暮らす」こと

住宅街のなかにある一軒家が「経堂憩いの家」。通り過ぎてしまいうようなほど、近所の景色になり、特別な看板は出ていません。室内は家庭的な台所とリビングが広がり、1階に個室が3部屋、2階にも3部屋あります。ここには、さまざまな事情によって家庭で生活することが難しくなり、働かざるをえなくなった15歳から20歳くらいの若者が生活しています。

「憩いの家」は世田谷区内に3軒あり、いずれも「自立援助ホーム」として若者の自立にむけた生活を支えています。子どものための施設には「児童養護施設」がありますが、こちらは基本的に学校に行っている子どもが主な対象で、学費も生活費も国と都が賄っています。一方で、「自立援助ホーム」は、基本的に中学を卒業したあとの若者たちが、働きながら自立をめざして生活する場です。

## 「経堂憩いの家」には、現在4

名が生活し、昼間は仕事に行って、夜、ここへ帰ってきて、いつしょに食卓を囲みます。取材の日も、みんな仕事に出かけた後で家の中にはスタッフだけでした。「憩いの家」にはあれこれ細かい決まりごとはありません。ルールはごくシンプル。「仕事に行くこと」と、「生活費として3万円をいれること」。部屋の掃除や洗濯は自分で行いますが、食事づくりは職員が行います。「働く」ことと「暮らす」ことを大切に、みんなで生活をつくっています。

## 「必要なとき」に寄り添う

「憩いの家」での生活に明確な期限はありませんが、だいたい1年くらい。まずは仕事を探し、ここから仕事に通って生活に慣れ、お給料をコツコツと貯めて、ひとりで暮らしていくための準備ができたなら、アパートを借りて、自活

していきます。

ここに来る子どもたちは、虐待など家庭での生活が困難になり、児童相談所から紹介される場合がほとんどです。本人の働く意欲や能力が備わっているかにかかわらず、家族などの援助を受けることができない厳しい状況で、「自立」をせまられているのです。一般的には就職やひとり暮らしなど、生活が変化するステージでは家族の支えがありますが、「憩いの家」にやってくる子ども家庭にはその支える力が弱く、社会的養護が必要とされています。



今回訪ねたのは「経堂憩いの家」

年齢的には高校生相当の子どもたち。同年代の子が勉強したり、部活をしているのに、「なんで自分だけ働かなくてはいけないのか」と思う日もあるでしょう。仕事の悩み、お金の問題、友達付き合い、男女の関係…、「憩いの家」で暮らす間よりも、むしろそこを出たあとのほうが、いろいろな問題や困難にぶつかることが多いのが現実です。そうしたときに、実家に帰るように、何か困ったときの抛り所として、「憩いの家」があります。いっしょに暮らす間に、大人も子どももお互いのことをわかりあいながら、退居後も続けられる「関係」の足掛かりをつくっているといえるのです。

武田さんたちが大切にしてきたのは「失敗してはいけない」ということではなく、失敗してもなんとかそれをいっしょに考え、同じ過ちを繰り返さないよう、やり直していくプロセスに付き合うということでした。

「憩いの家」を出たあとは、基本的にはスタッフから連絡することではなく、「1年ちよつとで『憩いの家』を出ても、付き合いとしてはそのあと10年くらいは続きます。当然、何でもすぐにうまくいくわけではなく、『何かあった時には一人で悩まないで』『私たちはここにいるから、必要があったらいつでも話を聞くと』と伝えていきます」と武田さんは話します。音沙汰もなかったOBが、ある日突然何年ぶりにフツと夜中に訪ねてくることもあるといいます。5年、10年、それ以上の単位で、「必要なとき」にOBをささえるスタッフ。信頼できる人がそこに「居る」ことの安心感。この50年間で674人の子どもたちとの出会いがありました。

### ボランティアの力で

今こそ、「自立援助ホーム」  
として制度化されている「憩いの

家」ですが、50年前に立ち上げたころには、まったくの手弁当から始まりました。当時は戦災孤児など、身寄りや行き場のない子どもたちのために家庭に代わる場をつくろうと、発起人の故・財部実美さんに賛同する人たちが資金集めから始めました。

1967年に1軒の家をかまえて「三宿憩いの家」を立ち上げ、6人の子どもたちを受け入れて、みんな他の仕事を持ちながら交代で寝泊まりしていたといいます。泊まりのボランティアなどに支えられての運営でした。「憩いの家は大规模な施設と違って、小さい家だからみんなが見えていい」という子どもたちの声を大事にし、その家庭的な良さを生かして、小さい規模のまま「第2の憩いの家」が経営にできました。三宿から7年後、1974年のことでした。その年によくやく東京都から補助金が出るようになり、専従職員(寮



「三宿憩いの家」びわの木が目印。50年前、1軒のこの家から始まった。

母)を配置できるようにになりました。現在では寮母制ではなく、職員が交代で泊まって体制を組んでいます。

「経営憩いの家」をつくる頃、大学生だった武田さんは、他の学習支援のボランティアを通して「憩いの家」を知り、デパートバザーを手伝ったのが縁のはじまりでした。「当時はみんな気概があったね」と振り返る武田さん。泊まりボランティアを経て、スタッフになりました。のちに「子ども虐待防止センター」を設立した故・



恒例のバザーの様子。区民会館ロビーいっぱいになる品物。提供品は通年募集中。

ひろおかともひこ  
広岡知彦さんとともに、武田さんは43年間「憩いの家」の運営に尽力してきました。初期のスタッフのご尽力と、それを受け継ぐスタッフの努力によって援助の充実が図られています。

### 「憩いの家」を支えるバザー

資金集めのために始めたデパートバザーには多くの人と品物が集まり、「憩いの家」を動かす大きな力となりました。今でもバザーは「憩いの家」の貴重な収入源と

なっています。「これだけのバザーは職員だけでやれることではなく、多くの人に支えられて営まれているということであらためて実感します」という言葉どおり、10年、20年と長年応援してくださるボランティアさんあつてのバザーで、若いスタッフよりも経験が豊富な人ばかり。毎月、太子堂区民センターで値付け作業をし、バザーのときには2トンのロングトラック2台分の品物を運びます。

### 関心をもつこと

自立援助ホームは、20年前には全国17カ所でしたが、2009年の法改正をうけて、2017年に

は130カ所が増え、現在都内に18カ所あります。武田さんは、「まずは『自立援助ホーム』があることを多くの人に知ってほしい」といいます。「直接何か手伝うことは難しくても、まずは関心をもってもらうことが大切です」

そしてなんといつても今年は憩いの家にとって大きな節目の年。11月に50周年の記念シンポジウムを予定しています。虐待や暴力、経済的な困窮など、子どもの生活には『トラウマ（心の傷）』となりうる様々な要素があり、こうした状況のなかで生きている子どもたちとどう向かい合うか、「憩いの家」の現状をお伝えしながら、



第3の「祖師谷憩いの家」

ともに考える場になればと企画しています。

記念誌『憩いの家と私』には長年支援してくださっている160名もの方々から原稿が寄せられ、50年の重みと広がりを感じさせます。ぜひこの機会に、半世紀にわたる地道な実践に耳を傾けてみてはいかがでしょう。

取材／編集委員 市川 徹、事務局 宮崎紘子

### 「憩いの家」開設50周年記念の集い

■日時：11月11日（土）13時～

■場所：日本大学文理学部  
百周年記念館「国際会議場」

■内容：

①講演「子どもの成長と回復を支えるために～トラウマインフォームド・ケアの観点から～」

野坂祐子氏（大阪大学大学院准教授）

②シンポジウム「今の憩いの家の現場から見えること」



科学遊びで病児と家族をサポート

## アニマシオン・トイ

# まちの 市民力!!

取材・家井雪子

●  
街の中で地域やそこで暮らす  
人たちと一緒に活動している  
団体を紹介します



子どもの高度先進医療で知られる大蔵の国立成育医療研究センター（以下、成育センター）には、長い入院生活を送ったり、治療のため近くへ越してくる家族が少なくありません。生活の変化は病児だけでなくきょうだいにも大きなストレスを与えます。子どもたちが少しでも地域になじみ、親から離れた長い時間を楽しくすごせるよう、成育センター内のケアハウス「もみじの家」で科学遊びを行う支援しているのが「アニマシオン・トイ」。代表の渡辺美佐子さんにお話をうかがいました。

「アニマシオン」とは心をいきいきさせ、豊かな感情を育む活動のこと。2012年から成育センターの病児やきょうだい児、地域の子たちと呼びかけて、地区会館などで絵本や木のおもちゃで遊ぶ会、科学遊びなどを行ってきました」  
科学実験教室には東大駒場のサイエンス・サークル「キャスト」が協力。ふだんは感染予防のため病室に入ることができないきょうだいと病児がそろってワークショップに参加する写真は、家族の宝物になったと喜ばれました。在宅医療を受けている病児の遊びの支援も行っています。ごっこ遊びに使う布のお弁当箱などのおもちゃはメンバーの手作り。「アニマシオン・トイ」では作品づくり

も行っており、病児への誕生日プレゼントにもなっています。  
活動の場は「もみじの家」だけでなく、保育園や学童クラブでの「科学遊び」、地域子どもたちとの「遊びの広場」、渡辺さんの故郷・奄美大島の県立病院で2011年から行っている「遊びの広場」は「アニマシオン・トイ」の原点です。  
メンバーは4名。長く障害児教育に携わってきた渡辺さんの知識と経験を中心に、絵本、手芸などそれぞれが得意なことを生かして多彩な活動を行っています。小児科医などを招いての講演会開催や区の子育てメッセへの参加は、アニマシオン・トイの活動を広めるためだけでなく、「メンバーの研修を保証したい」という渡辺さんの思いからでもあります。「活動のためには区子ども基金や企業への助成金などが必要。その申請が一番大変」と笑う渡辺さん。エネルギーギッシュな活動は、まだまだ広がっていきそうです。



「おおきなかぶ」の人形といっしょに

星野 サエさん  
ほしの さえ

# や せた人が キラリ

世田谷を中心に活躍する  
キラリと光る素敵な方がたを  
ご紹介し  
ます  
取材●事務局

ないかしら」と  
軽い気持ちで、  
たまたま訪ねた  
のがボランティア  
アセンタ―でし  
た。スタッフに  
何気なく経歴を  
話したら、「人

形劇、いいですね。やつてみませ  
んか?」言われてびっくり。「ま  
さか、そんなことができると思っ  
てもみなかったから、本当にでき  
るの?」と思つたわ」

今年3月ボランティアアセンタ―  
で行われた「おたがいきまふエス  
タ」で人形劇の実演をして、いっ  
しょに活動する仲間を集め、4月  
にグループを立ち上げました。メ  
ンバーは5〜6人で、初めての発  
表の場にむけて「南の島のカメハ  
メハ大王」などを練習中。毎週土  
曜日の午前中に活動しています。

一口に「人形劇」といっても、  
人形や小道具をつくる「美術」か

ら、劇に合わせた「音楽」、「演技」  
「脚本」などつくるのがたくさ  
ん。もう少し人数を増やして、ゆ  
くゆくはそれぞれの得意なことや  
個性、持ち味を生かしたグルー  
プにしていきたいと考えています。

「子どもたちに喜んでもらえる  
ものをつくっていきたい」という  
想いは人一倍。「自分たちが楽し  
んでやるのも大事だけど、相手に  
みてもらうものだから、心をこめ  
て、丁寧に演技しよう」とメンバ―  
と話し合っています。見る人もつ  
くる人も、つくる人同士のコミュ  
ニケーションも含めて、「手づく  
りのあたたかさを、みんなで共有  
していけたら」と星野さんは思っ  
ています。

9月16日には代田ボランティア  
ビューローの「ご近所カフェ」で  
人形劇の発表があります。どなた  
でも参加できますので、興味のある  
方、お近くの方はぜひ一度、見  
にいらしてみませんか?

「手づくりのぬくもりが伝わる  
ような人形劇を」、そんな思いを  
こめて人形劇グループ「チチン  
プイ」の中心となっているのが星野  
サエさん。長年、NHKの子ども  
番組の人形劇に出演したり、幼児  
教育を学ぶ学生に読み聞かせや紙  
芝居の演じ方などを指導してきま  
した。退職後はメキシコで5年間  
暮らし、孤児の施設や路上生活の  
子どもの支援施設などで人形劇を  
演じたり、イベントでは子どもた  
ちといっしょに劇づくりもしてき  
ました。

帰国から数年がたち、あらため  
て「地域で何かかわれることは

\*沿線別にイベントやボランティア情報を入れています。  
詳細はP10～15をご覧ください。

地域・ボランティアで活動する女性のための  
わちあいのコミュニケーション・ワーク  
9/16、30、10/7(土) 10時半～15時半  
代田ボランティアビューロー P14

聴く会  
17時

●小田急線沿線

- ☆音訳ボランティア募集 詳細 P10
- ☆もみじの家ボランティア募集 詳細 P11
- ☆視覚障害のある方の調理サポート募集 詳細 P11
- ☆小1男子の学童からの帰宅付き添い募集 詳細 P12
- ☆点訳の手助け パソコンボランティア募集 詳細 P12
- ☆自宅の清掃をしてくださる方(有償) 詳細 P12
- ☆ボランティア拠点の臨時職員募集 詳細 P13

チャリティバザー

時半～16時半  
時～16時半  
時～15時  
館〇ピー P15

「NPO が知っておきたい  
お金のはなし」  
10/6(金) 18時半～21時  
世田谷ボランティアセンター P15

第9回 せたがや福社区民学会

10/1(日) 12時～17時半  
昭和女子大学  
世田谷区福祉人材育成・研修センター P15

「マイノリティ先生

～俺みたいのだっているんだぜ～  
9/10(日) 14時～16時  
世田谷ボランティアセンター P14

リサイクル市(バザー)

9/28(木) 10時半～14時  
世田谷ボランティアセンター P11

文化にふれて楽しむ  
クワッシュ(俳句・超初級編)

22、29(金) 10時～12時半  
川ボランティアビューロー P14



# OTAGAISA MAP

おたがいさマップ ● 情報トピック

## ● 京王線沿線

☆ 小学1年生女児の付添いをしてくださる方募集 詳細 P12

## にじのご秋バザー

9/29 (金)、30 (土) 10時～15時  
烏山区民センター前広場 P15

## ● 東急線沿線

- ☆ 小泉公園ふれあいフェスタボランティア募集 詳細 P10
- ☆ 中3女子の学習支援ボランティア募集 詳細 P10
- ☆ つくしんぼフェスタボランティア募集 詳細 P10
- ☆ 90代女性へ声掛けなどして下さる方募集 詳細 P11
- ☆ トイレ介助ボランティア募集 詳細 P11
- ☆ バザーボランティア募集 詳細 P11
- ☆ 車いす男性の生活と仕事のサポート (有償) 詳細 P12
- ☆ ボランティア拠点の臨時職員募集 詳細 P13
- ☆ 人形劇グループメンバー募集 詳細 P15

不登校経験者の話を  
9/17 (日) 14時～  
NPO僕んち P14

憩いの家  
10/4 (水) 11  
10/5 (木) 10  
10/6 (金) 10  
世田谷区民会

- 京王線沿線
- 小田急線沿線
- 世田谷線沿線
- 東急線沿線

この地図には沿線ごとのトピックをいれています。  
他にも世田谷にはたくさんの素敵な出会いがいっぱいです。後に続く情報をマップにお  
としたり、今月のあなたの『おたがいさま』を書き入れてみてはいかがでしょうか。  
★や◎で入れるのもよし、活動の記録・行動(アクション)の目安に是非ご活用ください。

日本  
ワ  
9/1  
玉

## 相談できます

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障がいや学習障がいの傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小・中学生の個別の学習支援に取り組み、ボランティアの紹介を行っています。

勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。必要な方がいらしたら、お気軽にご相談ください。

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木・青木  
TEL 5712・5101  
suzuki@otagaisama.or.jp

## ボランティア求む

### 東 小泉公園ふれあいフェスタボランティア募集

地域の絆を深め、いざという時に助けあえる関係を増やすことを目的に、2011年から毎年開いていて、地域のおまつりです。防災に関心をもってもらうこともテーマにしています。

●日時/10月7日(土) 8時〜16時の間で都合のつく時間  
●場所/小泉公園(駒沢2・42)  
●交通/駒沢大学駅15分  
●募集人数/10人程度  
●問合せ/小泉公園ふれあいフェスタ実行委員会 担当 一宮  
070・5457・7781  
wave@gor-hp.org

### 東 中学3年生の学習支援ボランティア募集

発達障がいのある中学3年生の女の子が勉強を教えてくれる方を探しています。人見知りもなく、明るい女の子です。小学校のおさらいから一緒に楽しく教えてくださる女性の方、お待ちしております。

●日時/月・水曜日(17時頃〜)、土曜日(午前または午後)  
●場所/玉川ボランティアビューロー、もしくは深沢付近  
●条件/交通費支給。女性。  
●問合せ/玉川ボランティアビューロー  
TEL 3707・3528

### 東 つくしんぼフェスタ2017ボランティア募集

障害者が通所している施設での地域交流のイベントです。ゲームや屋台など、運営のお手伝いをお願いします。また、利用者と一緒に時間を過ごして下さる方を募集しています! お気軽にお問い合わせください。

●場所/世田谷区立三宿つくしんぼホーム  
●交通/下北沢駅・三軒茶屋駅から徒歩20分  
●募集期限/10月16日(月)までにご連絡ください。  
●問合せ/世田谷区立三宿つくしんぼホーム 担当 久松・松永  
TEL 3411・4711

### 小 音訳ボランティア募集

「世田谷録音奉仕グループ」ひびき」は、梅丘で39年間、視覚障害者のための録音図書を作り続けています。デジタル録音、デジタイズ編集など一緒に活動して下さる方を募集しています。音訳ボランティアに興味・関心のある方は、ぜひお問合せください。

●日時/例会は毎月第1、第3火曜日の午前中(作業によっては午後もあり)  
●場所/梅丘ボランティアビューロー(録音、編集作業は自宅)  
●年会費/1000円  
●問合せ/梅丘ボランティアビューロー  
TEL 3420・2520



## 「もみじの家」ボランティア募集

「もみじの家」は、重い病気の子どもと家族のための短期入所施設です。ボランティア説明会を開催いたしますので、ご希望の方は活動条件と活動内容をご覧いただき説明会にご出席ください。詳細は ホームページをご覧ください。

●日時／9月30日(土)、10月5日(木)、10月21日(土)  
いずれも13時半～、

●場所／国立成育医療研究センター  
「もみじの家」

用賀2丁目にお住まいの90代の認知症のある女性の方へ声をかけたり、本や新聞などを読んでくださる方を探しています。

日中ひとりでもせずつにしていることが多く、ご家族はそのことを心配していて、声をかけたり、本や新聞を読んだりして生活にハリをつくってほしいと考えています。  
ご本人の体調などを尊重しながら活動してくださる方を探してい

●交通／成城学園前駅からバスで約10分

●募集人数／①受付・ご案内ボランティア15名、②ハウスキーパーボランティア20名、③ゲストサポーター20名、④ナイトボランティア30名程度

●問合せ／国立成育医療研究センター「もみじの家」担当 植田  
TEL 5494・7135  
nomiji-vo@ncchdgo.jp  
<http://home-from-home.jp>

## 東 90代の女性へ声掛けなどをしてくださる方募集

ます。

●日時／日中の30分～1時間程度  
日時・時間はやってくださる方に合わせます。

●場所／桜新町駅近くの自宅  
●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木  
TEL 5712・5101  
suzuki@otagaisama.or.jp



## 視覚障害のある方の調理サポーター募集

視覚障害のある女性の料理講習グループ「みんなの料理」では活動を手伝ってくださる方を求めています。すでに3名協力してくださっていますが、もう1名募集しています。料りが好きな方なら視覚障害の知識がなくても大丈夫です。

●日時／毎月1回、第4月曜日

13時～16時  
●場所／砧総合支所区民集会所  
●交通／成城学園前駅徒歩5分  
●募集人数／1名  
●条件／料理に興味のある女性。食事代1回500円が必要。  
●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 宮崎  
TEL 5712・5101

## 東 トイレ介助ボランティア募集

二子玉川のオフィスビルに勤務する車イスの20代男性が、昼休みのトイレ介助(パッド交換)のボランティアを探しています。現在、複数名でサポートしていますが、火曜を担当していただける方を求めています。介助経験のある方もない方も、まずはお問い合わせください。

●日時／火曜 12時40分～13時

(頻度は応相談)  
●場所／二子玉川駅徒歩2分のオフィスビル1階  
●募集人数／1～2人  
●条件／年齢・性別・資格不問。交通費相談  
●問合せ／玉川ボランティアビューロー  
TEL 3707・3528  
tanaborae@otagaisama.or.jp

## 東 バザーボランティア募集

恒例の「リサイクル市」をお手手伝いいただける方を募集しています。昼食を提供いたします。

●日時／バザー前日準備9月27日(水)、バザー当日9月28日(木) 10時～16時頃まで(準備は15時)

●場所／世田谷ボランティアセンター  
●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 今関  
TEL 5712・5101

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。10月号掲載は9月10日(日)に締め切ります。

**小**

**小1男子の学童からの帰宅付き添い募集**

砧に住んでいる小学校1年生の男の子がBOP(学童)から家に帰るときの付き添いをしてくれの方を探しています。普段は親御さんがつきそっていますが、できないときに、小学校まで迎えに行つて一緒に自宅に帰ります。

すでにボランティアがひとり決まっています、無理せず2人でサポートする予定です。人なつこい明るい男の子です。子どもが好きなら、ご連絡をお待ちしています。

**小**

**点訳の手助け パソコンボランティア募集**

視覚障がいの方のための点訳ボランティアグループ「てんとつむし」では、本の点訳に協力してくださる方を募集しています。点訳までの工程の中の「原稿(紙面)をテキストデータにする作業」を手助けしてもらえませんか?

◎自宅、ご自分の時間に合わせ活動ができます。

●作業工程/①原稿をスキャンしてテキストデータに変換。  
②原稿の文字と、スキャンしたテキストデータに齟齬がないか

- 日時/月に1〜2回程度(おおむね2週間前にはわかります)18時に学校にお迎え。自宅まで徒歩約20分。
- 場所/世田谷区立明正小学校
- 条件/女性。交通費支給(上限あり)
- 問合せ/玉川ボランティアビューロー TEL 3707・3528

- 確認。③修正データをメールで「てんとつむし」に送信。
- 日時/ご自分の時間に合わせて活動ができます。
- 場所/ご自宅での作業です
- 条件/スキャナーをお持ちの方。または文字数が多くても文字の入力が苦にならない方。
- 問合せ/梅丘ボランティアビューロー  
TEL 3420・2520  
umebora@otagaisama.or.jp

**京小**

**小学1年生女兒の付添いをしてくださる方募集**

脊椎の障害のため、学校での生活に支援が必要な子が、この春から塚戸小学校に通っています。明るく人懐っこい性格でよく話をし、なんでも自分でやってみよう!とする女の子です。週のうち3日は学校の支援員が付き添いますが、残り2日の授業中の見守りや教室移動の付添いなどが必要です。子どもを尊重して関わってくださる方を募集しています。

**有償スタッフ募集**

**小**

**自宅の清掃をしてくださる方募集**

代田にお住まいの目の不自由な女性が、週に2回くらい自宅の清掃をしてくださる方を探しています。詳しくはお問合せください。

●日時/火曜日午後、第1・3金曜日午前午後、各1時間くらい(曜日は相談可)

●場所/自宅(代田2丁目)

●交通/世田谷代田駅徒歩3分

- お気軽にお問い合わせください。
- 日時/火曜日・木曜日 8時20分〜14時半(応相談)
- 場所/塚戸小学校
- 条件/女性。交通費は負担いたしません。
- 問合せ/梅丘ボランティアビューロー  
TEL 3420・2520  
umebora@otagaisama.or.jp
- 募集人数/1〜2名
- 条件/近隣にお住まいの穏やかな女性の方。1時間1000円(緊急介護人制度に登録お願いします)
- 問合せ/代田ボランティアビューロー  
TEL 3419・4545  
dai-tabor@otagaisama.or.jp

## 小児 ボランティア拠点での臨時職員募集

世田谷ボランティア協会が運営する、地域のボランティア拠点で有給スタッフを募集しています。もっと暮らしやすい、もっとわくわくするまちにするために、あなたの力を生かしてみませんか？

- ボランティアアピュローロ勤務
- 内容/ボランティア活動の推進にかかわる相談業務、諸事業の企画・実施、一般事務、施設の管理、バザーの企画・運営ほか
- 勤務地/代田ボランティアアピュローロ(代田2・20・6)
- 交通/世田谷代田駅徒歩1分
- 勤務日/月曜～土曜日のうち、週3日程度(ただし、月1～2回土曜日の交代勤務あり)
- 勤務時間/9時55分～17時10分
- 条件/20歳以上で人とかわかることが好き、地域のために何か始めてみたい方
- 雇用期間/9月以降～2018年3月末日(勤務開始日応相談)
- 年度ごとの契約、更新あり)
- 待遇/時給935円(交通実費支給、雇用保険あり)

② ボランティアセンター勤務  
内容/ボランティア登録にかかわる入力業務

- 勤務地/世田谷ボランティアセンター(下馬2・20・14)
- 交通/三軒茶屋駅徒歩12分
- 勤務日/火曜～土曜日のうち、週3日(曜日応相談)
- 勤務時間/9時45分～18時
- 条件/パソコンのデータ入力が得意な方。データベースソフトを使用したことのある方歓迎
- 雇用期間/10月1日～2018年3月末日(更新あり)
- 待遇/時給950円(交通実費支給、雇用保険あり)

- ① ②とも
- 応募方法/履歴書(写真貼付)、作文「応募の動機」(4000字程度)を郵送または持参
  - 選考方法/書類及び面接
  - 応募締切/適任者が見つかり次第締切
  - 問合せ/世田谷ボランティア協会(月曜～祝日休館)  
〒154-0002  
世田谷区下馬2・20・14  
TEL 5712・5101

## 車いす男性の生活と仕事のサポート急募

小児麻痺(ポリオ)による障がい者で、多機能室内外一体型の電動車いすを使用している5代男性が、家族が不在の時間、自宅、身の回りの家事と仕事のサポートをしてくれる方を急募しています。掃除、布団干し、資料文献の整理、ファイルの入力、外出の帰宅時などの車輪に付着した落とし作業など。

「障害学」をはじめ社会福祉分野の研究をおこない、大学などで長年、非常勤講師の担当歴がある、明るく楽しい方です。二子玉川近

## 講座・その他・募集

### 火曜電話相談室 相談員研修講座の説明会

「火曜電話相談室」は、カウンセリングの勉強をしながら、毎週火曜日に電話相談を行っているボランティアグループです。10月から開催する、相談員研修講座の説明会を行います。研修講座は10月～来年3月まで全10回です。杉並区南阿佐ヶ谷で開催、費用は15000円です。詳しくはお問合せください。

- 辺在住の方、大歓迎です。まずはお問合わせください。
- 日時/月曜、火曜午前、金曜午前のうち週1～2回。各1～2時間程度。(応相談)
- 場所/二子玉川近辺の自宅
- 交通/二子玉川駅・上野毛駅
- 条件/10000円(交通費別途支給あり)。区の緊急介護人派遣制度に登録をお願いします。
- 申込み/問合せ/玉川ボランティアアピュローロ  
TEL 3707・3528  
tanabou@otagaisama.or.jp
- 日時/9月12日(火)10時
- 場所/セシオン杉並(杉並区梅里1・22・32)
- 交通/丸の内線東高円寺駅
- 条件/カウンセリングの基礎知識のある方
- 問合せ/火曜電話相談室  
080・62252・5126  
acc-danso@jcom.zaqne.jp

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。10月号掲載は9月10日(日)に締め切ります。

京王線沿線  
小田急線沿線

世田谷線沿線  
東急線沿線

## 講座・その他・募集

**小**

地域・ボランティアで活動する女性のための  
わかちあいのコミュニケーション・ワーク（全3回）

「言いたいことが言えない」、「これでいいのかな?」、「もっと、みんなが気持ちよく活動できたら」、「地域・ボランティア活動を始めると、いろいろな人とのコミュニケーションの機会がぐんと増え、時には疑問やもどかしさを感じることもありませんか?」

アサーション・ワーク、ボスターセッション、演劇的ワークなど、さまざまなワークを体験しながら、コミュニケーションのヒントを一緒に学びましょう。詳細はお問い合わせください。

**小京**

不登校経験者の話を聴く会

子ども・若者の居場所 手づくりの育ちの場として22年運営してきましたが、近年さらにこうした学校外の場の必要が高まってきています。不登校のお子さんと親御さん、関心をお持ちの方、気楽にご参加ください。

●日時/9月16日、30日、10月7日 土曜日 10時半〜15時半

(7日のみ14時まで)

●場所/代田ボランティアセンター 1階

●参加費/5000円(3日分)

●定員/女性12名(3回連続参加)

●申込み・問合せ/代田ボランティアセンター

TEL 3419・4545

databorae@otagaisama.or.jp

●日時/9月17日(日) 14時〜

●場所/NPO 僕んち(代田4・32・17・B)

●参加費/5000円(要申込)

●交通/梅ヶ丘駅・東松原駅

●問合せ/僕んち親の会 高橋

060・3905・8124  
tsbtoru@yahoo.co.jp

**東**

「マイノリティ先生  
〜俺みたいのだっっているんだぜ〜」

2017年9月から奇数月の第2日曜日の午後、世田谷ボランティアセンターで「マイノリティ先生〜俺みたいのだっっているんだぜ〜」がスタートします! 偶数月には、火曜日の夜にボランティアセンターで、「先生」のお話をざっくばらんに聞くお話をします。「伝えたいことがある」、「知ってほしいことがある」先生も募集しています!

●日時・内容/①9月10日(日)

1時間目(14時〜) 山本純一郎  
先生「普通になんかなれないよ」

**東** 日本文化にふれて愉しむワークショップ

日本の文化にふれて愉(たの)しみますか? 今回は俳句の超初級編です。俳句を知って、つくって味わいましょう。初心者大歓迎! 歴史のテーマは幕末です。

●日時・内容/①9月22日(金)  
日本の歴史と文化の発展(幕末、俳句を知る)超初級編  
②9月29日(金)日本の歴史と文化の発展(西郷どんをめぐる人々)、俳句を作る)超初級編

2時間目(15時〜) 実方裕二先生(ゆうじ屋)「僕は自分の言葉と声に驚いた」  
第2回は11月12日(日) 14時〜  
●場所/世田谷ボランティアセンター  
●参加費/600円(18歳以下は無料)

●交通/三軒茶屋駅徒歩12分

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木

TEL 5712・5101  
suzuki@otagaisama.or.jp

いずれも10時〜12時半  
●会場/玉川ボランティアセンター

●参加費/1回5000円(ただし1回目に出た方は2回目無料)

●申込み/電話・メール

●問合せ/玉川ボランティアセンター

TEL 3707・3528

tamabora@otagaisama.or.jp

### 東 人形劇グループ「チチンブイ」メンバー募集

NHKなどで長年人形劇に関わられてきた星野サエさん（7ページ参照）が「人形劇は観るのも面白いけど、演じるのも楽しいのよ」とボランティアセンターに相談に來られました。そこで、人形劇のグループをつくって、人形作りをしたり、稽古をしながら子どもたちに観てもらえる活動をしていきたいと思っています。

身近にあるもので人形にする工夫、子どもを別世界に引きこむ演出の工夫、わくわくさせる動きの

### 東 「NPOが知っておきたいお金のなし」

ボランティアグループや市民活動団体（法人格は問いません）のための基礎講座です。会費や寄付金、助成金など「お金」に関する

ことをテーマに、基本的な考え方を整理していきます。活動を始めたばかりの初任者の方、個人・団体問わず参加可能です。

- 日時／10月6日（金）18時半～21時
- 場所／世田谷ボランティアセンター

工夫を考え、人形劇の楽しさを味わいながら、いっしょに活動しませんか？

- 日時／毎週土曜日 10時～12時
- 場所／世田谷ボランティアセンター
- 会費／月500円（入会時別途1000円）材料代に充てます
- 問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木

TEL 5712・5101  
suzuki@otagaisama.or.jp

- 講師／森 玲子氏（東京ボランティア市民活動センター 相談担当専門員）
- 参加費／無料
- 対象／NPO・ボランティアグループの方。初任者の方向け。
- 申込み／メールまたは電話でお申込みください。

- 問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 宮崎
- TEL 5712・5101
- myazaki@otagaisama.or.jp

### 世 「憩いの家」チャリティバザー開催

事情があって家庭では暮らせない10代の子どもたち（概ね15歳～19歳）が、働いて自立を目指す、自立援助ホーム「憩いの家」では、バザーを開催します。売り上げはすべてホームの運営費となります。自立を目指す子どもたちの幸せのためのバザーです。衣料品、日用雑貨、本などを売っています。ぜひご来場ください。

- 日時／10月4日（水）11時半～16時半、5日（木）10時～16時半、6日（金）10時～15時
- 場所／世田谷区民会館ロビー
- 交通／松陰神社前駅徒歩5分
- 問合せ／社会福祉法人 青少年と共に歩む会
- TEL 3304・4702
- http://koi-setagaya.jp/

### 京 「にじのこ」秋バザー2017開催

支援や配慮を必要とする幼児・学童へのデイサービス事業などを行っている「にじのこ」では地域交流を目的に、毎年バザーを開催しています。衣類・雑貨・おもちゃなど、掘り出し物がありますので、ぜひお越しください。

- 日時／9月29日（金）30日
- （土）10時～15時（小雨決行）
- 場所／烏山区民センター前広場（区民センターへの問合せはご遠慮ください）
- 交通／千歳烏山駅北口徒歩1分
- 問合せ／特定非営利活動法人 にじのこ
- TEL 5314・2488

### 東 第9回 せたがや福祉区民学会

世田谷区内で福祉活動に携わっている方や区民、学生などによる約60組の実践発表を行います。どなたでも参加することができますので、ぜひご参加ください。

- 日時／10月1日（日）12時～17時半
- 場所／昭和女子大学
- 交通／三軒茶屋駅徒歩7分
- 参加費／500円（資料代込）
- 問合せ／世田谷区福祉人材育成・研修センター
- TEL 5429・3100
- https://www.setagaya-jinza.jp/

## 世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

### ●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058

### ●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13丸ビルW1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

### ●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13丸ビル2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13丸ビル2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

### ●障がいにとまなう「困った！」を話せるところ●

- 世田谷地域障害者相談支援センター 〒154-0002 下馬3-22-13丸ビル2F TEL (6804)0405

### ●でんわだから、はなせるネ！18さいまでの子どもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン 子どもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)  
\*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

## 拠点は今… 今月のおススメ！

### ◆センター&ビューローより

9月16日(土) 国士館大学にて「災害ボランティアマッチングコーディネーター養成講座」を開催します。早々と定員に達し、関心の高さを感じています。今後も開催していきますので、ぜひご参加ください。

### ◆ふらっと&withより

秋はオシャレを楽しむ季節。ふらっとのメンバーさんも、暑い夏の間はTシャツの方が多かったのですが、それぞれお気に入りのデザインや色の装いに変わっていきます。外出を一緒にするのが楽しみです！

### ◆結・連より

介助を必要としている人がいます！世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です！

### ◆チャイルドラインより

夏休み明けの子どもの揺れる気持ちをうけとめる電話キャンペーン、9月1日～7日実施中です。「悩みじゃなくても心に抱えている不安、もやもやした気持ちを聴くよ。どんなことでも話してね」

## 編集後記

■10年前、「憩いの家」40周年記念のときに製作されたDVD『風とどまる』を今回改めて拝見し、「憩いの家」にかかわる多くの方々の想いやご尽力を感じました。それを「長く続けること」もまた大変な努力があったことだろうとしみじみ感じました。「古くても、いいものは大切に残す」という武田さんの言葉が心に残っています。

■取材中、見本に持ってきた「おおきなかぶ」の人形で、テーブル劇を即興してくださった星野さん。お話ししながら次々とアイデアが湧き出てきて、見ている私もワクワクと童心にかえって楽しませていただきました。(み)

- 発行  
社会福祉法人  
世田谷ボランティア協会  
〒154-0002  
世田谷区下馬2-20-14  
TEL 03-5712-5101  
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL  
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ  
<http://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人  
横山 康博